

建設の機械化

1996.5

No.555



◆巻頭言 建設機械産業と地球環境……………岡田 元 1

平成7年度社団法人日本建設機械化協会の事業活動…………… 3

霞ヶ浦大規模浚渫工事——底泥表層浚渫と長距離輸送……………戸谷 英雄 20

グラビア——霞ヶ浦大規模浚渫工事

明石海峡大橋補鋼桁架設工事——最新架橋技術を駆使して架設…大江 慎一 26

中部縦貫安房トンネル換気立坑の仮設備——寒冷地・冬期保管を
考慮した機器——……………麻生 博憲・小原 誠二・片居木 功 32

超高精度の現場打設用コンクリート型枠台車の開発——山梨リニア
実験線ガイドウェイの施工——……………鈴木 真男・早瀬 邦仁 39

◆ずいそう 我が愛しき“娯瑠負・苦裸侮”……………松永 真幸 46

◆ずいそう 異分野交遊……………一柳 健 48

建設機械用生分解性作動油の開発
……………大川 聡・小西 晃子・斉藤 秀明 50

◆わが工場 荏原製作所 藤沢工場……………佐々木 研一 57

◆部会報告 平成7年度建設機械化トピックス、ニュース……………調査部会 60
建設機械の多機能化についてのアンケート結果……………機械部会 64

◆トピックス 低騒音型建設機械の指定（平成7年度第2回分）…………… 69

JCMA

目 次



◆海外情報	74
◆新工法 02—92 DREAM 工法 (Daiho Remote-Control Excavation Method) / 04—128 TBM 全自動掘削システム / 11—45 搬出入管理システム / 11—46 全天候仮設屋根「天晴れ」	調査部会 75
◆新機種紹介	調査部会 79
◆統計 建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会 86
◆お知らせ 標準操作方式建設機械指定要領及び排出ガス対策型建設機械指定要領の一部改正について / 標準操作方式建設機械の指定について (追加) / 排出ガス対策型エンジンの認定および排出ガス対策型建設機械の指定について (追加)	87
行事一覧	100
編集後記	(土山・坂東) 104

◇表紙写真説明◇

アスファルトフィニッシャ NFB 80 WE

株式会社新潟鉄工所・ニイガタ建機株式会社

従来国産のアスファルトフィニッシャの最大舗装幅は6mが限度で、それ以上の場合は海外の機械に頼っていたのが現状です。顧客からは国産の大型機種が待望されており、それにクリーン性、低騒音化、高精度化等、作業者は勿論、環境との調和を考慮したものが要求されておりました。

本機は、これら顧客のニーズに応え、各種の作業装置を自動化し最大舗装幅8mを可能としました。

今回初めてスクリードの駆動を電動式とし、伝達効率の向上と低速走行性能の向上を図った大型アスファルトフィニッシャです。

本機の特徴は

- ① 国内最大の敷きならし能力 (600 ton/時) を持ち、最大舗装幅8mまで可能としました。
- ② 独自のコンベヤシステム、敷きならしシステムにより骨材分離の無い均一な仕上がりと平坦性が得られ、従来機と異なり敷きならし装置を中心として電

動化を行いクリーン性、低騒音化を実現するなど環境対策を施しました。

- ③ 足廻り装置は世界初の6輪駆動システムを実現して車体揺れの少ない安定した走行と牽引が得られ、特に前輪はリヤバンパの低いダンプトラックでも受入れ出来るように油圧で上下を可能としました。
- ④ 作業装置の自動化はメモリーカードとカードリーダーの使用等、タッチパネル操作の感覚で舗装準備から運転施工まで自動的に行われます。

〈本機の主な仕様〉

全長	6,580 mm
全幅	2,990 mm
全高	3,300 mm
総重	17,500 kg
作業速度	0.5~20 m/分
回送速度	0~16 km/時
敷きならし幅	3~8 m
敷きならし厚さ	10~300 mm
エンジン出力	155 PS